



独立行政法人 国立病院機構
三重中央医療センター
 NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION MIE CHUO MEDICAL CENTER

平成25年3月
 第55号
 (通巻101号)

三重中央だより

当院の理念 (Principle)

いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心して質の高い医療を行います。

病院機能評価の認定

当院は日本医療機能評価機構 (Ver.6.0) の認定を受けております。

発行所：三重中央医療センター

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

<http://www.hosp.go.jp/nmch>

院長 森 本 保

患者さまの「権利」

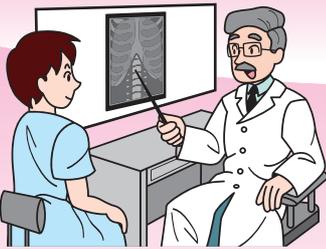
私たちは、患者様が安心して医療を受けられるように、患者さまの権利を尊重します。

1. 良質の医療を受ける権利があります。
2. 選択の自由の権利があります。
3. 自己決定する権利があります。
4. いかなる状態であっても人格的に応接され、その生を全うする権利があります。
5. 情報を得る権利があります。
6. 個人情報の機密が保護される権利があります。
7. 尊厳を得る権利があります。

患者さまへの「お願い」

患者さまも、当院職員とより良い信頼関係を築き、安全で満足のいく医療を受けて頂きますために、以下の点をお守り下さい。

1. 身体的、精神的状態や変化など診療に必要な情報を正確に伝えてください。
2. 診療上の指示には従ってください。
3. 大声を出したり、暴力を振るうなど他の人に迷惑になることはしないでください。
4. 酒類の持ち込みと飲酒の禁止及び敷地内の禁煙は守ってください。
5. その他、病院の規則を遵守してください。



呼吸器病棟(7階東病棟・呼吸器、7階西病棟・感染症)の現況

呼吸器科医長 大本 恭 裕

時がたつのも早いもので、当院も平成10年7月の開院以来、早15年が経とうとしておりさらに16年目を迎えようとしています。

呼吸器病棟は、当初より、呼吸器科、呼吸器外科を合わせ、7階東フロアーに50床の呼吸器疾患、7階西フロアーに呼吸器の特殊感染症を中心に感染症50床の病床を有して、これまでたくさんの患者の方々に入院して頂いて、検査、加療を行ってきました。呼吸器疾患で、入院で検査、治療の必要な方は非常に多く、7階東病棟の50床の病床だけではおさまらず、他病棟で見ていただくことも常時あり、この状態は、以前と変わりなく、依然継続している状態です。

疾患の中心は、7階東病棟では、何と云って

も肺腫瘍であり、病床50床のうち、7-8割は肺腫瘍の方々で、この他、呼吸器科では、肺炎、COPD、間質性肺炎、呼吸不全、睡眠時無呼吸症などの疾患が多く、呼吸器外科では、肺腫瘍の他、気胸、膿胸などの疾患の方が多いようで、この割合は、以前と、現在も変わりなく継続しているようです。

肺腫瘍では、以前から現在まで、呼吸器科、呼吸器外科合わせて、毎年、約130-150名前後の新たな患者の方の入院があり、そのうち、外科的手術適応のある方(年間約60-70名)に関しては呼吸器外科医と相談して、迅速に手術を行って頂くようにしています。

当病棟では、同じフロアに呼吸器科、呼吸器外

科がある県内唯一の病院であり、外科的な適応のある方では、このように、すぐに外科で対応できる利便性、迅速性があり、この利便性、迅速性は以前から継続してきております。また、外科的な進歩もあり、最近手術の際に、病変によっては切除部位が小さくて済むVATS手術（ビデオ関連胸腔鏡下肺切除手術）が通常行われるようになってきており、当外科でも積極的に施行されております。

当病棟呼吸器外科、安達先生は、昨年（平成24年）10月に、県立総合文化センターでの市民公開講座で「肺腫瘍の外科的な治療（胸腔鏡下手術）」と題して講演されております。

肺腫瘍の内科的治療に関しては、呼吸器科が対応することとなり、化学療法（抗腫瘍剤）や、適応のある方では放射線加療などを積極的に行ってきております。

以前と現在との化学療法の違いは、薬剤に関しては 1. 少しずつ新しい新規抗腫瘍剤が出てきて、種類が増加してきた点、2. イレッサなどの作用点の異なる、遺伝子レベルで作用する分子標的薬が、ここ4-5年でいくつか出てきている点です。（分子標的薬であるイレッサなどは、一部の適応のある方に限られ、使用可能かどうかは主治医と相談をしていく必要があります。）その他、以前の化学療法と変わってきている点、改善されてきた点としては、3. 化学療法専任の薬剤師、化学療法専任の看護師、疼痛緩和専任の看護師が病院全体に少しずつ配置されてきて、患者の方々、一人一人に十分な化学療法、疼痛緩和に関する説明がなされ、よりきめの細かい、より安全な加療が行えるようになってきたことがあり、当病棟でも、また、外来などでも非常に重要な役割を担ってもらっております。

一方、7階西病棟は、感染症病棟として、肺特殊感染症などの方々を中心に加療しておりますが、最近はその数がかかなり減少傾向を示しております。肺特殊感染症が減少することは、社会的にはいいことなのですが、患者の方々の高齢化、また、その他多重の疾患を抱える方も多々おられ、治療以外のことで苦勞することも時々あります。

以上の東西の呼吸器病棟を担当しているのは、呼吸器科医、呼吸器外科医、看護師スタッフの面々であり、呼吸器科医は、当初2人だけでしたが、最近、平成22年4月より、西井先生が加わり、4人体制（西井、藤本、井端、大本）で診療が行えるようになり、以前に比べ、大分充実した医療を行えるようになりましたが、呼吸器外科医は依然2人（樽川、安達）で診療しており、まだまだ、患者数の割に、医師一人、一人にかかる負担は大きく、呼吸器科医、呼吸器外科医はさらなる増員が望まれるところです。医療統計によると、三重県下の呼吸器科医、呼吸器外科医は、その数は、全国でも最下位のクラスに入るそうです。

以上述べたように、東西の呼吸器病棟では、病棟にあふれるくらいの患者の方々を前に人数は少ないながら医師、病棟スタッフは、高い仕事意識を持って、日々遅くまで、真摯に仕事に従事しております。病棟スタッフは内から見ても、本当によく仕事をしていると感心しております。

患者の皆様方には、このような呼吸器病棟の現状を充分ご理解頂きながら、呼吸器疾患の問題なら、呼吸器科を、呼吸器に関する外科的な問題でしたら、呼吸器外科を一度受診してみてください。必ず、呼吸器（肺）に関する問題では、あらゆる点でお役に立てるはずと思っております。

看護部より

西4病棟

看護の紹介



西4病棟 看護師長 権野 さおり

西4病棟は、NICU（Neonatal Intensive Care Unit；新生児特定集中治療室）とGCU（Growing Care Unit；新生児治療回復室）から成ります。予定日より早く生まれた赤ちゃん（早産児）、小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）、何らかの病気のある赤ちゃんたちが入院しています。

当院は、総合周産期母子医療センターですので県内外からたくさんの赤ちゃんを受け入れています。多くは院内で生まれた赤ちゃんですが、時には三重県から委託されている新生児救急車「すくすく号」（図①）で赤ちゃんを搬送することもあります。

新生児期は“子宮内の生活”から“子宮外の生

活”へ、という大きな変化に適応していく時期です。満期で生まれた赤ちゃんは、変化に適応するすべを身につけて生まれてくるのですが、早産で生まれた赤ちゃん（早産児）には、まだそれが備わっていません。体温を調節する力や胃腸の働き、肺の働きなど多くの機能が未熟なため、集中治療・看護が必要とされます。

大人では考えられないようなことも、赤ちゃんにとっては負担となってしまうので、赤ちゃんが余分な力を使わないですむように、安静を保つことが大切となります。光や音の刺激から赤ちゃんを守るために、病棟では明りの調節をして、できるだけ静かで明るすぎない部屋で過ごせるような



図1 三重県新生児救急車「すくすく号」



図2 オーダーメイドの保育器カバー

環境づくりを心掛けています。図②のミッフィーの保育器カバーは、いろんな工夫を施した当院のオーダーメイドです。

また、当院はユニセフと世界保健機構（WHO）の「赤ちゃんにやさしい病院（Baby Friendly Hospital）」に認定されています。母乳は赤ちゃんにとって必要な全ての栄養素を供えた「完全食品」と言われています。成長に必要な栄養素のみならず、様々な病気やアレルギーから赤ちゃんを守る免疫物質も含まれています。授乳時にお母さんと触れ合うことで、赤ちゃんの精神的な発達にも大切な影響を与えているとも言われています。赤ちゃんの入院によりお母さんと離れ離れに



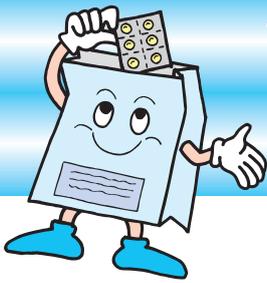
なってしまうですが、母乳が赤ちゃんとお母さんをつなぐ絆になると信じて、私たちは母乳育児を支援しています。

西4病棟では、赤ちゃんとその家族にNICUとGCUそれぞれ担当の看護師がつき、入院から退院まで継続した看護を展開しています。退院後も電話やeメールによる育児相談、NICUフォローアップ外来など途切れない看護を目指し、努力しております。「赤ちゃんの人権を尊重し、赤ちゃんと家族に優しい治療看護を行います」という病棟の理念のもと、医師・看護師・薬剤師・保育士・栄養士・理学療法士らの医療チーム一丸となって治療看護に取り組んでいます。



〈薬の話〉

インフルエンザのお薬に関するお話



薬剤科 市川和幸

インフルエンザと言えば2009年に発生した新型インフルエンザの世界的な大流行が記憶に新しく、マスクや消毒薬を買いに走られた方も多かったのではないかと思います。インフルエンザとはインフルエンザウイルスによって引き起こされる急性の呼吸器感染症で、例年12月～3月にかけて流行し、人から人へくしゃみによる飛沫の飛散などで感染します。約1～3日の潜伏期間の後に発症し、突然の38℃を超える高熱、全身の倦怠感、節々の痛みといった全身症状が出現し、併せて普通のかぜと同じようにのどの痛み、せき、鼻水といった症状も見られます。

今回はインフルエンザの治療薬に関して、ご紹介します。

インフルエンザの治療に関しては、主に①症状を抑える対処療法薬と②抗インフルエンザ薬による治療があります。

① **対処療法薬**：対処療法薬とはインフルエンザウイルス自体を抑えるのではなく、熱や咳、鼻水などの症状を緩和する治療薬です。インフルエンザ治療における小児への解熱薬の使用には注意が必要です。市販薬にも含まれるアスピリンなど、インフルエンザでは原則使用できない成分が含まれているからです。熱が高いとって安易に手持ちの解熱薬を使用することは避け、医師または薬剤師に相談しましょう。

② **抗インフルエンザ薬**：現在ではノイラミニダーゼ阻害薬という抗インフルエンザ薬が主に使用されており、体内でインフルエンザウイル

スの増殖を抑制することで症状を軽くする効果があります。

抗インフルエンザ薬には従来から使用されている吸入薬のリレンザ、内服薬のタミフルに加えて、2010年に発売された1回の吸入で治療が完了するイナビルと注射薬のラピアクタによってインフルエンザ治療における選択肢が広がりました。タミフル等に関して異常行動が報道された事がありますが、関連性は今のところ不明で、抗インフルエンザ薬を使用せず、解熱薬のみを使用していた患者での異常行動も報告されています。小児や未成年の方が一事故を防止するためにも、インフルエンザに感染して自宅で療養する場合には、発症後少なくとも2日間は小児や未成年が一人にならないよう配慮しましょう。また抗インフルエンザ薬を使用すると通常1～2日で熱が下がり、症状が軽快しますが、体内ではウイルスが残っており、そのまま学校や職場に行くとウイルスを拡散する結果になります。その為、発症してから5日間は自宅で安静にするようにしましょう。

インフルエンザウイルスは発症後48～72時間で最も多くなります。抗インフルエンザ薬はウイルスの増殖を抑制するといった作用の為、発症後48時以内に服用する必要があります。まずはインフルエンザの流行前に予防接種を受け、外出後の手洗い、うがいを徹底し感染予防に努めてください。その上でインフルエンザと思われる症状が現れるようなら早期に受診するようにしましょう。

骨塩定量測定検査のすすめ



中央放射線室より

あなたの『骨』は大丈夫ですか？

この検査は、近年増加傾向にある骨粗鬆症を調べる検査です。

骨粗鬆症とは、『骨量が減少し、骨の微細構造が障害された結果、骨折が起こりやすくなった全身性の骨の状態』と定義されています。

簡単に言い直すと『中がスカスカで衝撃に弱くなった骨の状態』です。

下の写真を見て下さい。左が健康な人、右は骨粗鬆症の人の骨の中の様子です。骨粗鬆症では、骨を支えている柱がスカスカになっていることがわかります。このような状態の骨では、わずかな力で簡単に骨折してしまうことが想像できると思います。



正常な骨



骨粗鬆症の骨

一般には骨量は加齢に伴って自然と減少します。女性はその減少の割合が多く骨粗鬆症の患者さんの80%以上は女性と言われています。それは女性ホルモンの一種で骨の新陳代謝に重要な働きがあるエストロゲンが閉経によって減少してしまうからです。

このようなことから、骨粗鬆症は年配の方の疾患と思われがちですが、若い方でも無理なダイエットによる栄養不足は骨粗鬆症の原因となります。特に成長期は丈夫な骨を作る大事な時期です

ので、無理なダイエットは将来の骨密度に悪影響を与えます。現在ダイエット中の人や、過去にダイエットをしたことのある人は要注意です。

骨量が少なくなると、どのようなことが起こるのでしょうか？たとえば屋内の柔らかい絨毯の上で転んでしまった時でも骨折をしてしまいます。身体の重みに加わるだけで骨がつぶれてしまうこともあります。これを圧迫骨折といい、背骨が丸くなったり、身長が縮んだり痛みを伴ったりします。

自分自身の骨量は注意が必要な状態にあるのか？同じ年代の方と比べた場合どの程度なのか？そういったことを調べる検査が『骨塩定量測定検査』です。

当院では測定精度が最も高いと言われているDEXA法（二重エネルギー X線吸収法）という方法を用いたアメリカのHOLOGIC社製の装置を使用して検査します。この装置は、①極めて少ないX線を利用しているので安心、②ベッドへ仰向けになるだけで痛みもなく測定できる、③検査結果がすぐにわかる、④定期的に検査をすることで過去の結果と比較し経過観察ができる、等の利点があります。



次のページに『骨の健康チェック表』を用意しました。御自分の骨の状態を確認してみてください。

骨の健康度チェック



- (女性) 閉経を迎えた。(男性) 70歳以上である。 . . . 4点
- 牛乳、乳製品をあまりとらず
カルシウムサプリメントの服用もしていない。 . . . 2点
- 小魚、豆腐をあまりとらない。 . . . 2点
- タバコをよく吸う。 . . . 2点
- お酒をよく飲む方だ。 . . . 1点
- 天気のいい日でも、あまり外に出ない。 . . . 2点
- 体を動かすことが少ない。 . . . 4点
- 最近、背が縮んだような気がする。 . . . 6点
- 最近、背中が丸くなったり、腰が曲がってきた気がする。 . . . 6点
- ちょっとしたことでも骨折した。 . . . 10点
- 体格はどちらかといえば細身だ。 . . . 2点
- 家族に『骨粗鬆症』と診断された人がいる。 . . . 2点
- 糖尿病や消化管の手術を受けたことがある。 . . . 2点

『はい』の数はいくつありましたか？ あてはまる項目を御覧下さい。

3点以上	骨が弱くなる可能性があります。
6点以上	骨が弱くなっている危険性があります。
10点以上	骨が弱くなっていると考えられます。

3点以上の方は、定期的に『骨塩定量測定検査』をして御自分の骨の状態を把握することで、日常生活・食生活に注意を払うといったことにご利用いただくことをお勧めいたします。

『骨塩定量検査』は、どの科にかかられていてもお受けになることは可能です。
担当の医師にご相談ください。



BFH (赤ちゃんにやさしい病院)

三重県内唯一の認定施設で、母乳育児を応援しています。



総合周産期母子医療センター

安心して出産を迎えられるよう、24時間専任のスタッフが担当しています。



マタニティヨガ

ゆっくり体を動かし、リラックスできるように、心と体の準備をし、安産を目指しています。



プレママ外来

助産師が妊娠経過の正常な方の妊婦健診を行い、保健指導や不安、悩みに対して相談を行っています。



助産師さん、大募集!!

三重中央医療センターで一緒に働いてみませんか。
(いろいろ活動をしています。ホームページもご覧ください。)



おっぱい外来

妊娠・出産・産後を通して、助産師が母乳育児に関する相談を行っています。



育児サークル (あいあい)

当院で出産されたお母さんと赤ちゃんが集まって楽しく話することができる、お友達作りの場を提供しています。



ローリスクバースセンター

助産師主導での出産のお手伝いをさせていただけるよう、準備中です。





三重中央医療センター



WHO・ユニセフ認定
「赤ちゃんに
やさしい病院」
(平成13年8月)

～病院理念～

いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、
安心して質の高い医療を行います

～看護部理念～

患者様の思いを尊び、安心して満足していただける
看護をめざします



病院説明会

6月8日(土) 7月6日(土) 8月19日(月)

三重県総合
周産期母子医療
センターに指定
(平成15年3月)



場所：三重中央医療センター
12:30 受付 13:00～17:00
(事前電話にて対応させていただきます)
電話：059-259-1211



インターンシップ研修のお知らせ

平成26年3月卒業見込みの方を対象に臨床の現場でどのようなケアが行われているのか、病院がどのような雰囲気なのかを体験できます。

また、先輩看護師の意見を聞くことでイメージが付き、今後の就職活動の決断する時の一助になればと思っています。

応募資格：現在、看護学校・大学に在籍中の看護学生

研修場所

西2病棟	小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・放射線科
西3病棟	救急・ICU
西5病棟	整形外科
西6病棟	内科・消化器科

東3病棟	循環器・心臓血管外科
東4病棟	産科・婦人科・MFICU
東5病棟	外科・泌尿器科
東6病棟	脳神経外科・神経内科
東7病棟	呼吸器科・呼吸器外科

※ご希望の病棟で看護職場体験していただきます。申し込みの際『希望する研修場所』『体験したいこと』『連絡先』などお伝え下さい。

必用物品 ユニホーム、ナースシューズ（つま先の保護ができるもの）
白い運動靴、白のソックスまたは肌色ストッキング

研修時間	9:30~16:00
	9:30~ オリエンテーション
	研修部署にて看護業務体験
	12:00~ 昼休憩
	13:00~ 研修部署にて看護業務体験
	15:30~ 質疑応答
	16:00 修了

連絡先 三重中央医療センター
059-259-1211
看護部長室副看護部長 漆畑久子



献血推進ボランティアに参加して



三重中央看護学校 1年生 藤本 那奈

私たち1年生10名は、昨年末の12月23日にイオン津城山で行われたクリスマス献血のボランティアに参加しました。私は以前から献血について興味があり、この機会に地域の方々に対して推進活動の協力ができればと思いました。そして、自分も献血をして貢献したいと考えました。

当日はとてもいい天気で、クリスマス前ということもあり、ショッピングセンターはたくさんの人で賑わっていました。ボランティアは他校の人たちを含め、約30名ほど集まり、皆で頑張って献血のPRを行いました。活動内容はティッシュ配り、献血・骨髄バンク登録への呼びかけ、献血協力者への景品の受け渡しなどでした。

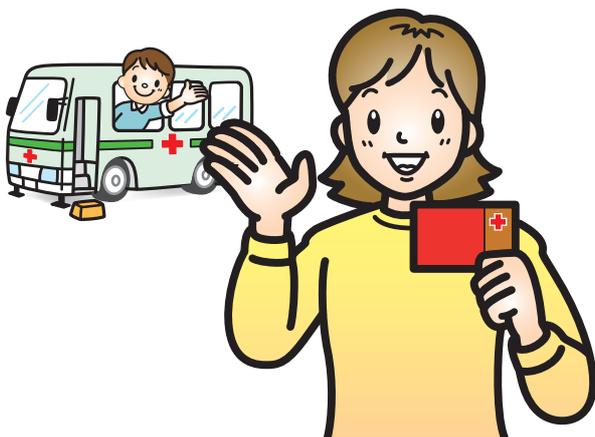
呼びかけをしていると、想像以上に献血に協力的な方が多く、受付場所を尋ねられたり、「献血には協力したいけど体調が悪くて」とか、「年齢的に受けられないわ」と申し訳なさそうに話される方もいました。このように、献血に興味関心を

もってみえる方々とお話をしていると、人の役に立ちたいと行動される方がこんなにもいるのだと、とても温かい気持ちになりました。地域の皆さまの協力的な姿勢に深く感動しました。しかし、半面、ティッシュ配りをしながらPRをしても素通りされる方もおり、残念な気持ちになりました。

私たちは献血推進ボランティアに参加して、献血の重要性を学べたと思います。また、自分自身が今まで、きちんと献血についての理解をしていなかったことにも気付かされました。私たちの身近には血液を必要としている人がたくさんいます。今回新たにドナー登録をされた方も多かったようです。この推進活動により、献血をしてみようという気持ちになる方もいると思うので、活動の意義を実感することもできました。

他校のボランティア学生とも交流ができました。三重県内の大学や専門学校生による献血ボランティアサークルがあることも知りました。献血推進の輪が広がれば、血液を必要とするより多くの人が助かります。

今回この活動に参加できたことは、とてもいい体験になりました。また機会があれば参加したいですし、これからも献血に協力していこうと思います。周りの人たちにも是非呼びかけていきたいです。



看護学校3年間での思い出

三重中央看護学校 3年生 田端文香

私たちは、看護師を志し2010年4月、三重中央看護学校に入学しました。これから始まる学校生活に期待と不安を抱きながら新たなスタートを切ったことを今でも鮮明に覚えています。

学校生活は予想以上に毎日が多忙で、遅くまで技術試験の練習をしたり、単位認定試験の勉強に取り組んだりしました。サマーコンサートやクリスマスコンサート、学校祭などの主要行事もあり、学業と並行しながら企画や準備を行ないました。学生全員が協力し合って進めていけたことは今では良い思い出です。特にコンサートでは、たくさんの患者様や家族の方々から「若いパワーもらって元気になったわ。」「いつもこれを楽しみにしとるんやわ。」と喜んでいただき、その言葉は大きな励みになりました。

私たちは3年間で23単位1035時間の臨地実習を履修しました。最初の基礎看護学実習では患者様とのコミュニケーションさえ上手く図ることができず、果たして自分が看護師に向いているのだろうかと思い悩むこともありました。しかし、私は1年生の頃の看護学概論の講義で「患者様の声にならない声を読み取ることが大切である」と教えてくださった先生の言葉が心に残っており、その後の実習を通じて、患者様を理解することこそが、患者様一人ひとりに合った個別性ある看護につな



がるのだと学ぶことができました。

この1035時間という実習の中では、小さな生命の誕生の瞬間、長い人生の最期の時間にも立ち合わせていただき、言葉では言い尽くせない貴重な経験をさせていただきました。まだまだ知識や技術が未熟な私たちを「ありがとう」、「あなたがいてくれてよかった」と、快く受け入れてくださった患者様やそのご家族に

は、感謝の思いでいっぱいです。

実習指導者の方々にもたくさんのご指導をいただきました。学生だけでは考えが及ばない視点から患者様を理解されており、もっともっと知識や技術、感性を高めたいという向上心が湧き上がりました。そして、理想とする看護師像に近づきたいという思いが、より一層大きくなり、確実なものとなりました。

この3年間、私たちの成長を支えてくださった患者様、ご家族、病院関係者の方々、学校の先生、家族、友人など、全ての方々にお礼を申し上げます。

本稿を書き終えた現在、看護師国家試験も無事終了しました。今は卒業の日を目前に、残り少ない学校生活を過ごしています。今まで一緒に歩んできた15期生の仲間たちと卒業式を迎え、そして、77名全員が国家試験に合格できることを思い描いています。

3年間、どうもありがとうございました。

●●● 三重中央医療センター—連携医療機関紹介 ●●●●●

医療法人 たかはし耳鼻咽喉科



三重中央だよりの本号が出るころにはスギ花粉は落ち着いて、ヒノキ花粉に変わる頃でしょうか。花粉症の方々は油断せずに、もう少し対策を続けて頂くようお願いいたします。

さて、当院はイオン津城山店のすぐ東どなりに位置し、早いもので開院してちょうど10年になりました。

私自身は近鉄久居駅前の国立津病院の頃より、現在の三重中央医療センターに移転するまで勤務しました。移転するにあたり病院名を募集された時に「三重県の真ん中にあるから三重中央病院」と応募して採用され、今でも事あるごとに自慢しています。三重中央病院を退職後、鈴鹿中央病院の医長を経て現在の地に開院いたしました。

診療科目は耳鼻咽喉科です。耳と鼻の病気に関して少しだけ注意している点を話します。

耳では、聞こえが悪くなる要因として、炎症が原因の場合と神経の異常が原因の場合などがあります。神経の調子が悪くなった

ことによる難聴は残念ながら改善しないことが多いのですが、その中で特に片側だけ悪い場合には注意が必要です。1つ目は片耳が突然聞こえなくなる突発性難聴という病気で、発症して2週間以内に治療すると治る確率が上がると言われています。ほとんど元通りに治ることも多いため、すぐに耳鼻咽喉科にかかることを勧めます。2つ目は頻度が低いですが聴神経鞘腫という神経に腫瘍ができる病気があり、MRIによる画像診断が必要になります。

鼻では、副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎の症状で来院される方が多いです。特に副鼻腔炎は手術が必要ではないかと心配される方がみえますが、最近は抗生剤の効果も高く、内服治療で完治する場合も多くなっています。ただ、なかなか治らない場合はCTによる画像診断を行い、よくならない原因が別に隠れていないか念のために探さなければならないと思います。

当院の診療に関する方針として、できる範囲で病気を予防する説明をするように努力しています。また、従来から言われている早期発見、早期治療のために三重中央医療センターとの連携が非常に大切と考えています。

院長：高橋 志光
住所：〒514-0815 津市藤方146-1
電話：059-235-3387 FAX 059-235-3390
休診日：木 日 祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
PM 3:00～6:30	○	○	○	/	○	△	/

△ PM 2:00～5:00

前沢整形外科



津市と旧久居市を結ぶ相川の地で父が外科医院を開業したのが昭和45年、その後平成5年、私とともに新規開業し「前沢外科・整形外科」とし、現在は「前沢整形外科」と変遷してきました。

私が父とともにスタートした頃は、まだ当院のまわりに田んぼが多く、東には近鉄電車の走る様子が見えました。

現在周囲の様子は変わってきましたが、父の頃からの患者さんも来てくださっております。父は開業当時久居市内に医院が少なかったこともあり、外科のみならず内科、皮膚科等の診療も行う総合家庭医でした。いまでも家庭医として患者さんから相談を受けて、専門的治療を必要とする場合には三重中央医療センターをはじめとして患者さんや家族の方と相談して紹介させていただいております。

私自身は昭和57年大学卒業後、勤務医時代は脊椎外科中心の勉強をしてきました。開業後は整形外科全般として、外傷の治療をはじめ日常生活をおくる上で支障をきたす膝、肩、腰の変形に伴う痛みなどを軽減、取り除くことを目指しています。しかしこれらの痛みはひどくなるまで受診していただけないことが多い、さらに骨粗鬆症など自覚がなくても進行している病気もあります。これらは早く治療を始めれば治療の選択肢が多く、患者さんの生活の質を保てます。その意味でも父の代からの精神を受け継ぐ、地域に根ざした身近で気軽に相談のしやすいクリニックでありたいとスタッフ一同思っております。

住所：〒514-1103 津市久居相川町2112
電話：059-255-5288 FAX：059-255-5289
休診日：日曜・祝日・木曜午後
診療科目：整形外科 外科 リウマチ科
リハビリテーション科 皮膚科
院長：前沢 祥司
整形外科専門医
日整会認定スポーツ医
日整会認定リウマチ医
日整会認定運動器リハビリテーション医
日本医師会認定産業医

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
14:00～18:00	○	○	○	/	○	△	/

△は14:00～17:00

山本クリニック



当院は県道久居美杉線の美杉の入り口、JR関ノ宮の駅南側に位置します。県立一志病院勤務、院長職後、H15年8月に開院しました。

一般内科の診療を行っております。かかりつけ医として、不安な事をご相談して頂ければ、どう対処すればよいか、最善の方法を考えたいと思います。常に強い緊張感をもって毎日の診療を行っております。そのため三重中央医療センターの先生方には、大変お世話になっており、適切なご指導を頂いております。

この白山町で子供たちは、田や川の自然の中でしっかり

遊んで大きくなりました。ザリガニや沢蟹、うなぎや、カブトムシと。

この穏やかな田園でも、高齢化が急速に進み、若い人たちが減少し、一人暮らしや夫婦だけの高齢者世帯がどんどん増えています。

そんな中で介護サービスをうける事によりなんとか生活を自立されております。住み慣れたご自分の家で、できるだけ生活できるような支援を、エールを送れたら、と、たくさんの方々に私も助けられながら、今後も精一杯診療を続けていきたいと思っております。

これまで支えて下さった各方面の方々や、先生方に感謝致します。

院長：山本 玲子
診療科目：一般内科
住所：〒515-2603 津市白山町川口49-1
電話：059-262-5175 FAX：059-262-5176
休診日：水曜日、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9時～12時半	○	○	×	○	○	○	×
15時～18時	○	○	×	○	○	○	×

ゆうあいクリニック

ホームページアドレス：<http://www.yuuai-clinic.com>



当院は、雲出本郷町131（国道165号沿い雲出バス停西に徒歩1分）にあります。

名古屋市立大学を卒業後、同大学第2外科に入局、大学病院を始め28年間の外科勤務医を経てH20年に（旧）池田外科を継承し開院しました。第2外科では大学病院や関連病院で専門領域だけでなく一般外科、消化器外科、小児外科と様々な疾患の手術、治療を経験。学位取得後18年間はトヨタ自動車（株）のトヨタ記念病院で呼吸器（胸部）、内視鏡外科の専門医として呼吸器疾患や循環器、肺がん、乳がん、食道がんなどの治療（手術、化学療法など）にかかわり、特に胸腔鏡による肺がん手術は全国に先駆け積極的に行ってきました。

またトヨタ自動車（株）本社産業医（現在も継続）も兼任し、従業員の生活習慣病やがんの予防早期発見の検診、メンタルヘルス対策、禁煙指導等にも取り組んできました。

これらの経験をもとに当院では、呼吸器疾患（肺がん、気管支喘息、慢性肺気腫、アレルギー他）、乳腺（がん他）の専門外来や、ヘリカルCT、高機能超音波、経鼻胃内視鏡等の機器をそろえ

ん等の検診も行い、三重中央医療センターや三重大病院の各科先生方の協力のもと治療、フォローアップの面から密接な連携をとらせてもらっております。

産業医の経験から、地域の皆様のみならず働く人々の健康維持増進にも力を入れ、健診、糖尿病、高血圧症、高脂血症等の予防、治療および睡眠時無呼吸の診断治療や禁煙指導も積極的に行っています。

外科としては、局所麻酔での小外科手術や外傷処置、また腰、肩、膝関節痛、交通事故後等の整形外科疾患のリハビリ、消炎鎮痛処置も施行しています。

なお当院では、薬は院内処方に対応しており、地域の皆様にとって便利でお役にたてるような医療を提供していきたいと思っております。

院長：浦上 年彦
診療科目：呼吸器科 消化器科 外科 乳腺外科
循環器科 内科 リハビリテーション科
住所：〒514-0304 津市雲出本郷町131-83
電話：059-234-3344 FAX：059-234-3655
休診日：木曜、日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	×	○	○	×
15:00～18:30	○	○	○	×	○	▲	×

▲14:00～17:30



外来診療担当表

平成25年3月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	備考	
初診内科 (初診・ 予約外)	1診	長谷川【消】	大本【呼】	北村【循】	田中(剛)【糖】	川崎【循】	*初診及び紹介患者様は、総合内科で診察いたします。	
	2診	井端【呼】	中久木【循】	竹内【消】	田中(淳)【循】	後藤【糖】		
	3診	新谷(卓)【循】	奥田	藤本【呼】	渡邊【消】	亀井【消】		
	4診	中谷【循】	子日【消】	田口【消】	甲斐【リウ】	西井【呼】		
再診内科 (予約のみ)	呼吸器科 4診				井端(午後再診)			
	循環器科 5診	田中(淳)	川崎	新谷(宇)	中久木	北村		
	呼吸器科 6診	藤本	井端	井端	大本	大本		
	消化器科 7診	子日	亀井	渡邊	長谷川	竹内		
	内科	8診	甲斐【リウ】	新谷(卓)【循】	後藤	田口【消】	甲斐【リウ】	
		9診	中久木【循】	田中(剛)	田中(剛)	田中(崇)	田中(剛)	
		10診	後藤	加藤【消】	西井【呼】			
	神経内科	1診	北川(初診)	川名(予約のみ)	北川(初診)	川名(初診)	北川(予約のみ)	
		2診	吉丸 (ものわずれ外来)				吉丸(初診)	
	小児科	午前	1診	井戸	NICUフォロー	井戸	NICUフォロー	田中
2診			NICUフォロー	NICUフォロー	山川(予約)	NICUフォロー		
3診				山本(初)	山本初(予約)	井戸		
午後		1診	田中(予約)	乳児検診		NICUフォロー	予防接種	
		2診	NICUフォロー	2週間・1ヶ月検診	山川(予約)	NICUフォロー		
		3診	NICUフォロー		山本初(予約)	NICUフォロー	(NICUフォロー)	
外科	1診	横井	谷川	横井	信岡	谷川		
	2診	草深		武内				
整形外科* (予約・ 紹介のみ)	1診	リウマチ外来 小川		小川		リウマチ外来 小川(予約のみ)	*初診及び再来初診の患者様は紹介状が必要です。 *火、木曜日の診療は休診中です。	
	2診	田中(雅)	*浅沼 (休診中)	田中(雅)	*浅沼 (休診中)	長倉		
	3診	長倉		三浦(良)		三浦(良)		
脳神経外科	1診		霜坂	三浦(洋)	霜坂	石田	*水曜日の2診は第1・3・5週は霜坂医師、第2・4週は石田医師の担当となります。	
	2診		石田	*霜坂・石田 (予約のみ)	種村	霜坂 (予約のみ)		
脊椎・脊髄外科			*水野				*診療時間は10:00～14:00までとなります。	
呼吸器外科			安達		樽川	安達		
心臓血管外科		森本		佐藤	ペースメーカー	日置		
皮膚科*(休診)		休診					*当面の間、休診となります。	
泌尿器科	1診		加藤	*加藤(初診)	加藤	加藤(初診)	*水曜日の初診及び再来初診の受付時間は8:30～10:00までとなります。	
	2診		三木(初診)	三木	三木(初診)	三木		
産科・婦人科	午前	1診	前田	前川	前田	澤木	前川	
		2診	澤木	日下	吉村	吉村	日下	
		3診	紀平	プレママ外来	西岡	紀平 プレママ外来	プレママ外来	
	午後	おっばい外来(予約)	おっばい外来(予約)		おっばい外来(予約)			
眼科*(予約・紹介のみ)		久瀬		*久瀬	久瀬	久瀬	*初診及び再来初診の患者様は紹介状が必要です。 *水曜日の受付時間は8:30～10:30までとなります。	
耳鼻咽喉科	午前(初診)			*伊藤	*伊藤		*初診の受付は水、木曜日となります。 *水曜日の受付時間は8:30～10:00までとなります。	
	午前(予約のみ)		伊藤			伊藤		
	午後(予約のみ)		中耳外来		中耳外来			
放射線科(7ブロック)		奥田	奥田	奥田	奥田	奥田		
リハビリテーション科		浅沼	田中(雅)	浅沼	小川	浅沼		
歯科・歯科口腔外科		柳瀬	柳瀬	柳瀬	柳瀬	*柳瀬	*金曜日の第2・4週は予約のみの診療。	
看護外来(予約のみ)		看護外来	看護外来	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来		

*初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。*医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。